

第4回 南部支所 中出運転士

路線バス運転士として平成28年に入社

第4回の放送では、未経験から転職した
運転士の中出さんが出演しました

「僕も中心部で中出さんのバスに乗ることがあると思います。初めて運行する路線でルートやバス停を覚えるのは割と大変じゃないですか？」

「そうですね。私自身加賀の方の出身ですので、金沢に正直あまり馴染みがないということもあって、覚えるのは結構苦労しました。道を覚えるときは自分の車で走ってみて、バス停の位置や経路を確認しました。」

「大変ですよ。たまにお祭りなどがあり臨時で路線が変わることもあるじゃないですか。」

「その時も自分の車で確認しながら、「ここはこういう風に曲がったらいいかな」と考えてやっております。」

「勉強熱心ですね！そんな中出運転士は最初からバスの運転士だったわけではなく、転職してバスのハンドルを握ったということですが、これはどういった経緯だったのですか？」
前職ではバスや大型トラックの整備士をしておりました。子供の頃から車が好きだったのでその仕事を選んだのですが、月ごとに残業時間や勤務時間が不安定で、将来の生活に不安を感じていました。そんな時、子供の頃、母とバスに乗って運転士さんが手を振り返してくれて嬉しかったことや「将来はバスの運転士になりたいな」という思いが蘇り、私自身車の運転もすごく好きでしたので、子供の頃の夢を叶えてみたいと思い、26歳の時に思い切ってバス運転士に転職することを決めました。」

バスは毎日走っているものなので、実際になってみてからも安定感のある仕事だなと思います。」

「大型バスの運転は実際にやってみると難しいのではと思うのですが、最初運転してみたときはいかがでしたか？」

「振動をいかに与えずに運転するか、またブレーキなど心遣い気遣いをしながら運転をしないといけないので、そこは難しいところかなと思います。お客様は両替などの際に車内を歩かれますので、すごく注意は必要ですね。」

「確かに運転士さんによってブレーキをかけるタイミングや減速の仕方などが多少異なっていて、性格が出るような気がしますね。実際、入社してからどれくらいで路線に出るのですか？」

「入社してから研修期間が2か月ほどありまして、最初の1か月間は接客や運賃、法令関係、車両の扱い方など営業運転に必要な基礎知識を学びます。のこり1か月は各営業所に配属となり、経験豊富な先輩運転士に横乗りしてもらって一緒に乗務に出たあと、独り立ちという形になります。」

「よく街のなかで「教習車」という方向幕で走っているバスを見かけますが、あれが横乗りという状態ですか？」

「教習車」と表示されたバスはまだ横乗りの前の段階です。横乗りは、実際にお客様に「乗車いただき通常の乗務を先輩と二人体制ですることを指します。」

「中出さんが運転士になってよかったなと思うのはどんなときですか？」

「私自身、子供の頃に運転士さんに手を振って、振り返してくれたことが嬉しかったので、それが逆に自分が手を振り返す側の立場になって、バスに「ご乗車いただいたお子様が喜んでくれたらすごく嬉しいなと思います。逆に私の方が元気をもらっています。」

「やっぱり子供はバス好きですよ！子供たちにとって、運転士さんって憧れの存在だと思うんですよ。ですからその気持ちのまま大人になって運転士になる方が増えてほしいなと思います。」

ところで、ターミナルのようにバスがいつぱい停まっている所では、よく運転士さん同士が楽しそうに会話をしていますよね。みんな仲が良いんだなと思うのですが、バスを離れて営業所に戻ったときは、運転士さん同士でどのような話をしているのですか？」

「本当に仰った通り仲が良くって、その日の勤務が似たような人同士でお昼ご飯を食べに行ったり、談笑したり……。趣味の話だと、やっぱり自動車を扱う業種なので車やバイクが好きなお客もいますし、釣りやスポーツ、グルメや音楽など様々な趣味を持っている人がいるので話は尽きません。」

「中出さんは転職組ですが、そういう方は他の運転士さんにも多いのですか？」

「はい、非常に多いと思います。私は自動車関係から転職してバス業界に入りましたが、他にも飲食業界や電気機械関係、アパレルのショップ店員さんなど本当に幅広く色々な方が転職して一緒に仕事をしています。」

「いろいろな業種の方がいますね！接客をやっていた方はなんとなく運転士と相性が良いような気がしますね。」

「そうですね。私たちも過去にホテル業をされていた方から接客を教えてもらったり、そういうのでみんな助け合いながらやっています。」

「中出さんが接客で気を付けていることは何ですか？」

「お客様の立場になって考えるようにしています。例えば足の不自由な方やベビーカーと一緒に乗られる方がおいでたらバスの車体を下げて乗り降りしやすいようにしたり、盲導犬をお連れの方や目の不自由な方には降りられる時に「ここに段差があります」と具体的に声掛けを行ったり、安全にご利用いただけるよう心がけています。」

「最後に、バス運転士を目指す方へ一言お願いします。」

「本当に色々な業種の方が転職して仲間となり、一緒にバスを運転しています。乗用車よりはるかに大きい車を運転して、多くのお客様を安全・快適に目的地までお送りする仕事ですので、ハンドルが高そうとか、自分には無理だと感じる方もいらっしゃるかもしれませんが、決してそんなことはありません。しっかりと教習も行ってありますので、男女問わず安心して働ける会社だと思います。現在大型二種免許を持っていない方も内定後に教習所に通っていただいて、費用は会社で全額補助するという制度もございますので、マニュアル免許さえあれば応募できます。」

「私のように子供の頃の憧れや、就職活動をする中でバス業界に少しでも興味がある方がいらしたら、是非とも応募していただけると嬉しいです。」

(8月20日放送)



毎月第3火曜日
18:00~18:10放送

次回は高速バスの運転士が出演します！
北陸鉄道では毎月バス運転士採用説明会をおこなっておりますので是非ご参加ください！